職員、強盗対応を確認

美濃加茂 東濃信金支店で訓練



職員を人質に金を要求する強盗事件を想定した防犯訓練＝美濃加茂市森山町、東濃信用金庫古井支店

美濃加茂市森山町の東濃信用金庫古井支店で14日、強盗事件を想定した防犯訓練が加茂署の協力で行われ、職員が万が一の事態に備えて対応を確認した。

同金庫は年末年始を前に毎年、数店舗で訓練を実施している。訓練は可児、加茂、各務原地区の支店長や職員らも見学し、約40人が参加した。

強盗役の加茂署員1人が模擬拳銃と刃物を持ち、職員1人を人質に取って「金を出せ。動くな」と脅し、札束を入れさせた袋を奪って逃走した。職員は役割分担に従って非常通報ボタンを押し、店外へ追跡して車のナンバーを覚えたり、犯人役の服装などをメモしたりした。

同署の青木崇典生活安全総務係長は「犯人は下見に来ることが多く、来店客にはあいさつや声かけをして隙のない店舗にしてほしい」と呼びかけた。（土屋健一）

無断複製・転載を禁じます